

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2025年4月15日提出
【計算期間】	第25期中(自 2024年7月17日至 2025年1月16日)
【ファンド名】	ハッピーエイジング２０ ハッピーエイジング３０ ハッピーエイジング４０ ハッピーエイジング５０ ハッピーエイジング６０
【発行者名】	SOMPOアセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山口 力
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋二丁目２番１６号
【事務連絡者氏名】	津田 浩平
【連絡場所】	東京都中央区日本橋二丁目２番１６号
【電話番号】	03-5290-3400
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1 【ファンドの運用状況】

（１）【投資状況】

ハッピーエイジング２０

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	1,453,960,712	4.82
親投資信託受益証券	日本	28,038,869,523	92.91
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	684,109,442	2.27
純資産総額		30,176,939,677	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

ハッピーエイジング３０

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	1,345,515,145	4.70
親投資信託受益証券	日本	26,619,979,018	92.91
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	685,334,589	2.39
純資産総額		28,650,828,752	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

ハッピーエイジング４０

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	1,454,465,919	4.76
親投資信託受益証券	日本	28,412,395,794	92.94
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	704,667,198	2.30
純資産総額		30,571,528,911	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

ハッピーエイジング５０

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	アメリカ	384,147,758	3.10
親投資信託受益証券	日本	11,779,074,569	94.96
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	240,870,343	1.94
純資産総額		12,404,092,670	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

ハッピーエイジング６０

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	5,593,554,182	97.85
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	122,872,174	2.15
純資産総額		5,716,426,356	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）S J A M ラージキャップ・バリュアー・マザーファンド

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	68,069,341,390	99.40
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	411,325,907	0.60
純資産総額		68,480,667,297	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）S J A M スモールキャップ・マザーファンド

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	21,709,405,550	98.68
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	289,455,095	1.32
純資産総額		21,998,860,645	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）損保ジャパン日本債券マザーファンド

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	22,570,152,200	69.56
地方債証券	日本	190,590,000	0.59
特殊債券	日本	428,133,842	1.32
社債券	日本	8,069,352,000	24.87
	フランス	396,538,000	1.22
	イギリス	99,685,000	0.31
		8,565,575,000	26.40
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	691,530,164	2.13
純資産総額		32,445,981,206	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	9,102,342,823	54.97

中国		1,636,524,377	9.88
イタリア		932,399,010	5.63
フランス		815,378,494	4.92
イギリス		811,777,574	4.90
ドイツ		598,014,203	3.61
スペイン		570,062,989	3.44
カナダ		308,367,358	1.86
ベルギー		195,090,060	1.18
オーストラリア		191,357,641	1.16
オランダ		141,960,197	0.86
ポルトガル		97,266,462	0.59
マレーシア		67,416,206	0.41
アイルランド		61,721,313	0.37
シンガポール		61,682,593	0.37
オーストリア		55,054,249	0.33
フィンランド		51,468,825	0.31
デンマーク		39,220,787	0.24
スウェーデン		31,372,155	0.19
		15,768,477,316	95.22
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	791,388,830	4.78
純資産総額		16,559,866,146	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（参考）損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

2025年1月31日現在

資産の種類	地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	21,815,202,304	76.60
	カナダ	928,068,690	3.26
	ドイツ	606,704,583	2.13
	アイルランド	557,291,076	1.96
	フランス	516,179,524	1.81
	イギリス	485,122,123	1.70
	シンガポール	419,166,045	1.47
	オランダ	280,399,480	0.98
	オーストラリア	215,393,523	0.76
	スイス	197,884,049	0.69
	スウェーデン	73,225,614	0.26
	ベルギー	56,961,796	0.20
	スペイン	51,789,942	0.18
	ジャージー	47,143,027	0.17
	バミューダ	41,438,857	0.15
	プエルトリコ	36,231,105	0.13

	ケイマン	33,119,569	0.12
	デンマーク	28,515,781	0.10
	香港	27,484,988	0.10
	フィンランド	12,282,742	0.04
	イスラエル	10,708,806	0.04
	ノルウェー	1,494,556	0.01
		26,441,808,180	92.84
投資証券	アメリカ	1,104,140,301	3.88
コール・ローン、その他の資産（負債控除後）	—	934,155,239	3.28
純資産総額		28,480,103,720	100.00

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率です。

（注2）投資資産の内書きの時価および投資比率は、原則として、当該資産の地域別又は発行国籍別の内訳です。

（２）【運用実績】

①【純資産の推移】

ハッピーエイジング２０

直近日（2025年1月末）、同日前１年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（円）		１口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間末	（2015年 7月15日）	8,801,004,620	8,801,004,620	1.3543	1.3543
第16計算期間末	（2016年 7月15日）	7,416,738,892	7,416,738,892	1.1099	1.1099
第17計算期間末	（2017年 7月18日）	9,271,419,094	9,271,419,094	1.4045	1.4045
第18計算期間末	（2018年 7月17日）	10,439,689,943	10,439,689,943	1.5015	1.5015
第19計算期間末	（2019年 7月16日）	10,453,350,603	10,453,350,603	1.4179	1.4179
第20計算期間末	（2020年 7月15日）	10,189,146,231	10,189,146,231	1.3797	1.3797
第21計算期間末	（2021年 7月15日）	13,007,644,754	13,007,644,754	1.7449	1.7449
第22計算期間末	（2022年 7月15日）	14,848,476,768	14,848,476,768	1.8338	1.8338
第23計算期間末	（2023年 7月18日）	19,858,295,497	19,858,295,497	2.2346	2.2346
第24計算期間末	（2024年 7月16日）	29,019,606,819	29,019,606,819	2.9576	2.9576
	2024年 1月末日	24,272,591,483	—	2.5678	—
	2月末日	25,431,173,525	—	2.6608	—
	3月末日	26,843,023,883	—	2.7946	—
	4月末日	27,144,192,977	—	2.8161	—
	5月末日	27,899,692,812	—	2.8640	—
	6月末日	28,613,866,215	—	2.9202	—
	7月末日	28,666,246,688	—	2.8961	—
	8月末日	27,564,994,464	—	2.7842	—
	9月末日	27,752,578,593	—	2.7890	—
	10月末日	28,738,316,018	—	2.8797	—
	11月末日	29,058,713,242	—	2.9020	—
	12月末日	29,829,948,747	—	2.9794	—
	2025年 1月末日	30,176,939,677	—	2.9956	—

ハッピーエイジング３０

直近日（2025年1月末）、同日前１年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（円）		１口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間末	（2015年 7月15日）	10,450,600,803	10,450,600,803	1.3944	1.3944
第16計算期間末	（2016年 7月15日）	9,226,785,122	9,226,785,122	1.1894	1.1894
第17計算期間末	（2017年 7月18日）	11,485,239,619	11,485,239,619	1.4397	1.4397
第18計算期間末	（2018年 7月17日）	12,738,786,784	12,738,786,784	1.5148	1.5148
第19計算期間末	（2019年 7月16日）	12,699,403,491	12,699,403,491	1.4446	1.4446
第20計算期間末	（2020年 7月15日）	12,817,876,592	12,817,876,592	1.4293	1.4293
第21計算期間末	（2021年 7月15日）	15,539,022,049	15,539,022,049	1.7142	1.7142
第22計算期間末	（2022年 7月15日）	17,096,530,694	17,096,530,694	1.7915	1.7915
第23計算期間末	（2023年 7月18日）	21,009,810,852	21,009,810,852	2.0822	2.0822
第24計算期間末	（2024年 7月16日）	28,106,573,110	28,106,573,110	2.6358	2.6358
2024年 1月末日		24,443,693,901	—	2.3403	—
2月末日		25,328,243,536	—	2.4088	—
3月末日		26,421,210,227	—	2.5092	—
4月末日		26,697,941,295	—	2.5318	—
5月末日		27,179,379,766	—	2.5633	—
6月末日		27,838,048,534	—	2.6086	—
7月末日		27,689,054,538	—	2.5824	—
8月末日		26,663,302,243	—	2.4915	—
9月末日		26,861,047,584	—	2.4947	—
10月末日		27,613,750,717	—	2.5620	—
11月末日		27,763,902,562	—	2.5661	—
12月末日		28,482,044,033	—	2.6329	—
2025年 1月末日		28,650,828,752	—	2.6332	—

ハッピーエイジング４０

直近日（2025年1月末）、同日前１年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（円）		１口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間末	（2015年 7月15日）	12,378,839,543	12,378,839,543	1.3816	1.3816
第16計算期間末	（2016年 7月15日）	11,857,174,350	11,857,174,350	1.2636	1.2636
第17計算期間末	（2017年 7月18日）	13,906,785,392	13,906,785,392	1.4368	1.4368
第18計算期間末	（2018年 7月17日）	15,282,979,036	15,282,979,036	1.4924	1.4924
第19計算期間末	（2019年 7月16日）	16,189,690,869	16,189,690,869	1.4537	1.4537
第20計算期間末	（2020年 7月15日）	16,815,567,800	16,815,567,800	1.4410	1.4410
第21計算期間末	（2021年 7月15日）	19,994,471,155	19,994,471,155	1.6425	1.6425
第22計算期間末	（2022年 7月15日）	21,277,799,746	21,277,799,746	1.6752	1.6752
第23計算期間末	（2023年 7月18日）	24,582,794,992	24,582,794,992	1.8528	1.8528
第24計算期間末	（2024年 7月16日）	30,041,750,564	30,041,750,564	2.1676	2.1676

2024年 1月末日	27,274,992,928	—	2.0016	—
2月末日	27,929,111,075	—	2.0453	—
3月末日	28,863,590,054	—	2.1046	—
4月末日	29,101,579,226	—	2.1127	—
5月末日	29,406,701,190	—	2.1225	—
6月末日	29,871,666,362	—	2.1509	—
7月末日	29,750,186,903	—	2.1327	—
8月末日	29,168,893,341	—	2.0847	—
9月末日	29,379,355,272	—	2.0896	—
10月末日	29,976,795,896	—	2.1256	—
11月末日	29,884,745,105	—	2.1216	—
12月末日	30,459,846,803	—	2.1610	—
2025年 1月末日	30,571,528,911	—	2.1563	—

ハッピーエイジング５０

直近日（2025年1月末）、同日前１年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（円）		１口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間末	（2015年 7月15日）	5,534,439,620	5,534,439,620	1.3347	1.3347
第16計算期間末	（2016年 7月15日）	5,689,949,958	5,689,949,958	1.3007	1.3007
第17計算期間末	（2017年 7月18日）	6,297,794,959	6,297,794,959	1.3890	1.3890
第18計算期間末	（2018年 7月17日）	6,875,070,157	6,875,070,157	1.4262	1.4262
第19計算期間末	（2019年 7月16日）	7,592,282,029	7,592,282,029	1.4137	1.4137
第20計算期間末	（2020年 7月15日）	7,791,444,020	7,791,444,020	1.4019	1.4019
第21計算期間末	（2021年 7月15日）	8,938,896,753	8,938,896,753	1.5168	1.5168
第22計算期間末	（2022年 7月15日）	9,555,136,567	9,555,136,567	1.5150	1.5150
第23計算期間末	（2023年 7月18日）	10,534,193,457	10,534,193,457	1.5977	1.5977
第24計算期間末	（2024年 7月16日）	11,996,103,167	11,996,103,167	1.7340	1.7340
2024年 1月末日		11,231,500,513	—	1.6647	—
2月末日		11,462,760,517	—	1.6885	—
3月末日		11,658,219,447	—	1.7175	—
4月末日		11,677,572,483	—	1.7145	—
5月末日		11,752,017,808	—	1.7097	—
6月末日		11,947,524,013	—	1.7252	—
7月末日		11,910,425,974	—	1.7144	—
8月末日		11,852,875,230	—	1.6969	—
9月末日		11,954,540,551	—	1.7012	—
10月末日		12,091,435,629	—	1.7153	—
11月末日		12,165,422,319	—	1.7080	—
12月末日		12,355,718,784	—	1.7272	—
2025年 1月末日		12,404,092,670	—	1.7198	—

ハッピーエイジング６０

直近日（2025年1月末）、同日前1年以内における各月末及び下記計算期間末における純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（円）		1口当たりの純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第15計算期間末	（2015年 7月15日）	3,292,018,524	3,292,018,524	1.2399	1.2399
第16計算期間末	（2016年 7月15日）	3,737,464,193	3,737,464,193	1.2843	1.2843
第17計算期間末	（2017年 7月18日）	3,967,051,489	3,967,051,489	1.2846	1.2846
第18計算期間末	（2018年 7月17日）	4,186,192,577	4,186,192,577	1.3015	1.3015
第19計算期間末	（2019年 7月16日）	4,551,251,809	4,551,251,809	1.3089	1.3089
第20計算期間末	（2020年 7月15日）	4,870,043,859	4,870,043,859	1.3009	1.3009
第21計算期間末	（2021年 7月15日）	5,345,944,070	5,345,944,070	1.3367	1.3367
第22計算期間末	（2022年 7月15日）	5,430,316,764	5,430,316,764	1.3192	1.3192
第23計算期間末	（2023年 7月18日）	5,407,525,651	5,407,525,651	1.3284	1.3284
第24計算期間末	（2024年 7月16日）	5,666,857,375	5,666,857,375	1.3584	1.3584
	2024年 1月末日	5,587,770,440	—	1.3463	—
	2月末日	5,589,415,096	—	1.3560	—
	3月末日	5,701,261,955	—	1.3651	—
	4月末日	5,700,101,044	—	1.3584	—
	5月末日	5,624,478,396	—	1.3464	—
	6月末日	5,690,297,023	—	1.3556	—
	7月末日	5,608,516,402	—	1.3476	—
	8月末日	5,646,218,141	—	1.3455	—
	9月末日	5,691,718,188	—	1.3480	—
	10月末日	5,733,697,265	—	1.3517	—
	11月末日	5,696,448,967	—	1.3425	—
	12月末日	5,740,485,906	—	1.3511	—
	2025年 1月末日	5,716,426,356	—	1.3409	—

②【分配の推移】

ハッピーエイジング20

	1口当たりの分配金（円）
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000
第20計算期間	0.0000
第21計算期間	0.0000
第22計算期間	0.0000
第23計算期間	0.0000
第24計算期間	0.0000
第25中間計算期間末	—

ハッピーエイジング３０

	1口当たりの分配金（円）
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000
第20計算期間	0.0000
第21計算期間	0.0000
第22計算期間	0.0000
第23計算期間	0.0000
第24計算期間	0.0000
第25中間計算期間末	—

ハッピーエイジング４０

	1口当たりの分配金（円）
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000
第20計算期間	0.0000
第21計算期間	0.0000
第22計算期間	0.0000
第23計算期間	0.0000
第24計算期間	0.0000
第25中間計算期間末	—

ハッピーエイジング５０

	1口当たりの分配金（円）
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000
第20計算期間	0.0000
第21計算期間	0.0000
第22計算期間	0.0000
第23計算期間	0.0000
第24計算期間	0.0000
第25中間計算期間末	—

ハッピーエイジング60

	1口当たりの分配金（円）
第15計算期間	0.0000
第16計算期間	0.0000
第17計算期間	0.0000
第18計算期間	0.0000
第19計算期間	0.0000
第20計算期間	0.0000
第21計算期間	0.0000
第22計算期間	0.0000
第23計算期間	0.0000
第24計算期間	0.0000
第25中間計算期間末	—

③【収益率の推移】

ハッピーエイジング20

	収益率（％）
第15計算期間	23.9
第16計算期間	△18.0
第17計算期間	26.5
第18計算期間	6.9
第19計算期間	△5.6
第20計算期間	△2.7
第21計算期間	26.5
第22計算期間	5.1
第23計算期間	21.9
第24計算期間	32.4
第25中間計算期間末	△1.3

（注）各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落の額）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
 なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

ハッピーエイジング30

	収益率（％）
第15計算期間	20.1
第16計算期間	△14.7
第17計算期間	21.0
第18計算期間	5.2
第19計算期間	△4.6
第20計算期間	△1.1
第21計算期間	19.9
第22計算期間	4.5

第23計算期間	16.2
第24計算期間	26.6
第25中間計算期間末	△2.1

（注）各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落の額）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

ハッピーエイジング40

	収益率（％）
第15計算期間	14.4
第16計算期間	△8.5
第17計算期間	13.7
第18計算期間	3.9
第19計算期間	△2.6
第20計算期間	△0.9
第21計算期間	14.0
第22計算期間	2.0
第23計算期間	10.6
第24計算期間	17.0
第25中間計算期間末	△1.9

（注）各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落の額）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

ハッピーエイジング50

	収益率（％）
第15計算期間	9.3
第16計算期間	△2.5
第17計算期間	6.8
第18計算期間	2.7
第19計算期間	△0.9
第20計算期間	△0.8
第21計算期間	8.2
第22計算期間	△0.1
第23計算期間	5.5
第24計算期間	8.5
第25中間計算期間末	△1.6

（注）各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落の額）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

ハッピーエイジング60

	収益率（％）
第15計算期間	4.3
第16計算期間	3.6

第17計算期間	0.0
第18計算期間	1.3
第19計算期間	0.6
第20計算期間	△0.6
第21計算期間	2.8
第22計算期間	△1.3
第23計算期間	0.7
第24計算期間	2.3
第25中間計算期間末	△1.5

（注）各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落の額）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。
なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

２【設定及び解約の実績】

ハッピーエイジング２０

	設定口数	解約口数
第15計算期間	1,446,470,764	1,546,505,235
第16計算期間	1,316,566,721	1,133,015,060
第17計算期間	1,187,415,933	1,268,396,839
第18計算期間	1,489,193,062	1,137,446,811
第19計算期間	1,441,075,609	1,021,272,801
第20計算期間	1,610,603,019	1,598,232,575
第21計算期間	1,531,705,313	1,462,004,315
第22計算期間	1,809,374,192	1,167,066,487
第23計算期間	1,970,503,276	1,180,964,726
第24計算期間	2,341,971,835	1,416,808,615
第25中間計算期間末	914,726,674	699,965,659

（注1）本邦外における設定及び解約はございません。

（注2）設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

ハッピーエイジング３０

	設定口数	解約口数
第15計算期間	1,083,572,839	945,383,122
第16計算期間	963,924,983	701,088,669
第17計算期間	1,000,840,370	780,753,459
第18計算期間	1,190,076,724	757,714,913
第19計算期間	1,151,257,690	770,237,275
第20計算期間	1,336,572,558	1,159,232,504
第21計算期間	1,265,453,871	1,168,570,454
第22計算期間	1,339,833,107	861,811,651
第23計算期間	1,422,792,677	875,614,531
第24計算期間	1,642,553,667	1,069,429,067
第25中間計算期間末	728,591,941	540,578,103

（注1）本邦外における設定及び解約はございません。

（注2）設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

ハッピーエイジング４０

	設定口数	解約口数
第15計算期間	1,360,175,410	1,220,689,774
第16計算期間	1,288,216,954	864,776,270
第17計算期間	1,431,202,031	1,135,435,456
第18計算期間	1,676,258,878	1,115,070,892
第19計算期間	1,884,821,803	988,431,478
第20計算期間	2,098,383,366	1,565,929,863
第21計算期間	1,997,361,636	1,493,623,313

第22計算期間	1,936,260,527	1,407,258,165
第23計算期間	1,879,507,225	1,313,399,096
第24計算期間	2,071,515,632	1,480,139,964
第25中間計算期間末	975,891,902	713,444,681

（注1）本邦外における設定及び解約はございません。

（注2）設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

ハッピーエイジング５０

	設定口数	解約口数
第15計算期間	849,878,441	721,397,173
第16計算期間	730,303,162	502,519,916
第17計算期間	828,831,999	669,291,626
第18計算期間	971,431,975	684,746,630
第19計算期間	1,121,171,260	571,339,838
第20計算期間	1,179,541,160	992,253,306
第21計算期間	1,148,879,543	813,439,718
第22計算期間	1,182,086,451	768,455,642
第23計算期間	1,054,270,671	767,967,640
第24計算期間	1,247,809,424	922,796,363
第25中間計算期間末	659,195,045	409,428,789

（注1）本邦外における設定及び解約はございません。

（注2）設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

ハッピーエイジング６０

	設定口数	解約口数
第15計算期間	649,247,886	545,147,386
第16計算期間	720,837,714	465,830,338
第17計算期間	748,382,900	570,133,617
第18計算期間	671,022,511	542,867,692
第19計算期間	829,372,301	568,524,688
第20計算期間	1,060,346,963	793,901,262
第21計算期間	925,573,626	669,909,997
第22計算期間	765,693,880	648,752,129
第23計算期間	651,604,071	697,314,060
第24計算期間	755,947,672	654,933,568
第25中間計算期間末	413,887,096	345,384,770

（注1）本邦外における設定及び解約はございません。

（注2）設定口数には、当初募集期間中の設定口数を含みます。

3【ファンドの経理状況】

1. 当ファンドの中間財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）ならびに同規則第284条および第307条の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令133号）に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
2. 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、2024年7月17日から2025年1月16日までの中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

【ハッピーエイジング20】

（１）【中間貸借対照表】

	(単位：円)	
	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
資産の部		
流動資産		
預金	11,417,232	43,770,717
コール・ローン	926,214,357	861,560,914
投資信託受益証券	1,375,918,267	1,428,576,108
親投資信託受益証券	26,940,281,466	27,221,134,362
未収利息	253	2,596
流動資産合計	29,253,831,575	29,555,044,697
資産合計	29,253,831,575	29,555,044,697
負債の部		
流動負債		
未払解約金	22,552,222	48,304,663
未払受託者報酬	7,184,782	7,868,409
未払委託者報酬	204,047,752	223,462,812
その他未払費用	440,000	412,500
流動負債合計	234,224,756	280,048,384
負債合計	234,224,756	280,048,384
純資産の部		
元本等		
元本	9,811,741,893	10,026,502,908
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	19,207,864,926	19,248,493,405
元本等合計	29,019,606,819	29,274,996,313
純資産合計	29,019,606,819	29,274,996,313
負債純資産合計	29,253,831,575	29,555,044,697

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
営業収益		
受取配当金	20,478,089	28,738,862
受取利息	-	345,968
有価証券売買等損益	2,577,491,623	△162,961,743
為替差損益	64,615,929	△5,216,277
営業収益合計	2,662,585,641	△139,093,190
営業費用		
支払利息	47,248	-
受託者報酬	6,012,012	7,868,409
委託者報酬	170,741,127	223,462,812
その他費用	815,761	551,929
営業費用合計	177,616,148	231,883,150
営業利益又は営業損失（△）	2,484,969,493	△370,976,340
経常利益又は経常損失（△）	2,484,969,493	△370,976,340
中間純利益又は中間純損失（△）	2,484,969,493	△370,976,340
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	87,420,696	△81,875,189
期首剰余金又は期首欠損金（△）	10,971,716,824	19,207,864,926
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,504,310,101	1,695,906,055
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,504,310,101	1,695,906,055
剰余金減少額又は欠損金増加額	746,015,867	1,366,176,425
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	746,015,867	1,366,176,425
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	14,127,559,855	19,248,493,405

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。 計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年7月15日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2024年7月16日、当中間計算期間末日を2025年1月16日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

期別	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	9,811,741,893口	10,026,502,908口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.9576円 (29,576円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.9198円 (29,198円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	損保ジャパン・TCW外国株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の8.2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。	同左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(その他の注記)

項目	第24期 自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
期首元本額	8,886,578,673円	9,811,741,893円
期中追加設定元本額	2,341,971,835円	914,726,674円
期中一部解約元本額	1,416,808,615円	699,965,659円

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

【ハッピーエイジング30】

（１）【中間貸借対照表】

	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
(単位：円)		
資産の部		
流動資産		
預金	11,803,761	38,250,851
コール・ローン	765,546,315	884,856,630
投資信託受益証券	1,422,499,905	1,322,023,885
親投資信託受益証券	26,116,265,450	26,003,358,699
未収利息	209	2,666
流動資産合計	28,316,115,640	28,248,492,731
資産合計	28,316,115,640	28,248,492,731
負債の部		
流動負債		
未払解約金	17,943,840	27,910,067
未払受託者報酬	7,079,958	7,576,383
未払委託者報酬	184,078,732	196,985,896
その他未払費用	440,000	412,500
流動負債合計	209,542,530	232,884,846
負債合計	209,542,530	232,884,846
純資産の部		
元本等		
元本	10,663,389,153	10,851,402,991
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	17,443,183,957	17,164,204,894
元本等合計	28,106,573,110	28,015,607,885
純資産合計	28,106,573,110	28,015,607,885
負債純資産合計	28,316,115,640	28,248,492,731

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
営業収益		
受取配当金	21,171,379	26,595,335
受取利息	-	335,070
有価証券売買等損益	2,303,782,016	△382,477,357
為替差損益	67,376,943	△18,013,659
営業収益合計	2,392,330,338	△373,560,611
営業費用		
支払利息	50,476	-
受託者報酬	6,223,284	7,576,383
委託者報酬	161,805,485	196,985,896
その他費用	820,995	540,642
営業費用合計	168,900,240	205,102,921
営業利益又は営業損失（△）	2,223,430,098	△578,663,532
経常利益又は経常損失（△）	2,223,430,098	△578,663,532
中間純利益又は中間純損失（△）	2,223,430,098	△578,663,532
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	51,121,634	△54,522,925
期首剰余金又は期首欠損金（△）	10,919,546,299	17,443,183,957
剰余金増加額又は欠損金減少額	889,575,449	1,127,591,095
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	889,575,449	1,127,591,095
剰余金減少額又は欠損金増加額	490,516,400	882,429,551
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	490,516,400	882,429,551
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	13,490,913,812	17,164,204,894

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。 計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年7月15日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2024年7月16日、当中間計算期間末日を2025年1月16日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

期別	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	10,663,389,153口	10,851,402,991口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.6358円 (26,358円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.5817円 (25,817円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	損保ジャパン・TCW外国株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の8.2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。	同左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(その他の注記)

項目	第24期 自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
期首元本額	10,090,264,553円	10,663,389,153円
期中追加設定元本額	1,642,553,667円	728,591,941円
期中一部解約元本額	1,069,429,067円	540,578,103円

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

【ハッピーエイジング40】

（１）【中間貸借対照表】

	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
(単位：円)		
資産の部		
流動資産		
預金	12,759,549	41,348,146
コール・ローン	751,483,939	858,954,665
投資信託受益証券	1,537,684,388	1,429,072,495
親投資信託受益証券	27,948,878,723	27,913,504,031
未収利息	205	2,588
流動資産合計	30,250,806,804	30,242,881,925
資産合計	30,250,806,804	30,242,881,925
負債の部		
流動負債		
未払解約金	22,730,617	11,568,882
未払受託者報酬	7,745,233	8,212,315
未払委託者報酬	178,140,390	188,883,143
その他未払費用	440,000	412,500
流動負債合計	209,056,240	209,076,840
負債合計	209,056,240	209,076,840
純資産の部		
元本等		
元本	13,859,330,422	14,121,777,643
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	16,182,420,142	15,912,027,442
元本等合計	30,041,750,564	30,033,805,085
純資産合計	30,041,750,564	30,033,805,085
負債純資産合計	30,250,806,804	30,242,881,925

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
営業収益		
受取配当金	22,885,791	28,748,846
受取利息	-	363,968
有価証券売買等損益	1,787,317,018	△374,864,550
為替差損益	83,640,581	△19,472,284
営業収益合計	1,893,843,390	△365,224,020
営業費用		
支払利息	52,854	-
受託者報酬	7,130,982	8,212,315
委託者報酬	164,012,466	188,883,143
その他費用	858,659	550,544
営業費用合計	172,054,961	197,646,002
営業利益又は営業損失（△）	1,721,788,429	△562,870,022
経常利益又は経常損失（△）	1,721,788,429	△562,870,022
中間純利益又は中間純損失（△）	1,721,788,429	△562,870,022
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	43,640,985	△38,038,459
期首剰余金又は期首欠損金（△）	11,314,840,238	16,182,420,142
剰余金増加額又は欠損金減少額	827,062,658	1,085,834,012
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	827,062,658	1,085,834,012
剰余金減少額又は欠損金増加額	529,067,179	831,395,149
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	529,067,179	831,395,149
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	13,290,983,161	15,912,027,442

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。 計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年7月15日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2024年7月16日、当中間計算期間末日を2025年1月16日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

期別	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	13,859,330,422口	14,121,777,643口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.1676円 (21,676円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 2.1268円 (21,268円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	損保ジャパン・TCW外国株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の8.2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。	同左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(その他の注記)

項目	第24期 自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
期首元本額	13,267,954,754円	13,859,330,422円
期中追加設定元本額	2,071,515,632円	975,891,902円
期中一部解約元本額	1,480,139,964円	713,444,681円

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

【ハッピーエイジング50】

（１）【中間貸借対照表】

	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
(単位：円)		
資産の部		
流動資産		
預金	3,370,002	10,920,709
コール・ローン	272,024,125	308,432,099
投資信託受益証券	406,127,089	377,440,948
親投資信託受益証券	11,388,417,079	11,605,517,806
未収利息	74	929
流動資産合計	12,069,938,369	12,302,312,491
資産合計	12,069,938,369	12,302,312,491
負債の部		
流動負債		
未払解約金	8,802,411	4,695,862
未払受託者報酬	3,135,578	3,330,195
未払委託者報酬	61,457,213	65,271,846
その他未払費用	440,000	412,500
流動負債合計	73,835,202	73,710,403
負債合計	73,835,202	73,710,403
純資産の部		
元本等		
元本	6,918,181,950	7,167,948,206
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	5,077,921,217	5,060,653,882
元本等合計	11,996,103,167	12,228,602,088
純資産合計	11,996,103,167	12,228,602,088
負債純資産合計	12,069,938,369	12,302,312,491

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
営業収益		
受取配当金	6,044,503	7,593,032
受取利息	-	135,728
有価証券売買等損益	438,745,675	△128,374,797
為替差損益	22,090,818	△5,142,942
営業収益合計	466,880,996	△125,788,979
営業費用		
支払利息	20,734	-
受託者報酬	2,985,957	3,330,195
委託者報酬	58,524,668	65,271,846
その他費用	595,890	453,330
営業費用合計	62,127,249	69,055,371
営業利益又は営業損失（△）	404,753,747	△194,844,350
経常利益又は経常損失（△）	404,753,747	△194,844,350
中間純利益又は中間純損失（△）	404,753,747	△194,844,350
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	11,161,086	△11,578,964
期首剰余金又は期首欠損金（△）	3,941,024,568	5,077,921,217
剰余金増加額又は欠損金減少額	325,026,622	465,969,084
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	325,026,622	465,969,084
剰余金減少額又は欠損金増加額	246,599,319	299,971,033
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	246,599,319	299,971,033
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	4,413,044,532	5,060,653,882

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
4. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。 計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年7月15日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2024年7月16日、当中間計算期間末日を2025年1月16日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

期別	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	6,918,181,950口	7,167,948,206口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.7340円 (17,340円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.7060円 (17,060円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	損保ジャパン・TCW外国株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の8.2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。	同左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(その他の注記)

項目	第24期 自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
期首元本額	6,593,168,889円	6,918,181,950円
期中追加設定元本額	1,247,809,424円	659,195,045円
期中一部解約元本額	922,796,363円	409,428,789円

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

【ハッピーエイジング60】

（１）【中間貸借対照表】

	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
(単位：円)		
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	122,077,241	133,013,597
親投資信託受益証券	5,582,264,078	5,572,941,189
未収利息	33	400
流動資産合計	5,704,341,352	5,705,955,186
資産合計	5,704,341,352	5,705,955,186
負債の部		
流動負債		
未払解約金	10,927,350	5,325,466
未払受託者報酬	1,523,727	1,574,053
未払委託者報酬	24,684,358	25,499,652
その他未払費用	348,542	273,823
流動負債合計	37,483,977	32,672,994
負債合計	37,483,977	32,672,994
純資産の部		
元本等		
元本	4,171,627,877	4,240,130,203
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,495,229,498	1,433,151,989
元本等合計	5,666,857,375	5,673,282,192
純資産合計	5,666,857,375	5,673,282,192
負債純資産合計	5,704,341,352	5,705,955,186

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
営業収益		
受取利息	-	68,439
有価証券売買等損益	114,920,144	△58,692,889
営業収益合計	114,920,144	△58,624,450
営業費用		
支払利息	10,072	-
受託者報酬	1,509,590	1,574,053
委託者報酬	24,455,324	25,499,652
その他費用	471,677	279,763
営業費用合計	26,446,663	27,353,468
営業利益又は営業損失（△）	88,473,481	△85,977,918
経常利益又は経常損失（△）	88,473,481	△85,977,918
中間純利益又は中間純損失（△）	88,473,481	△85,977,918
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	1,403,707	△3,873,998
期首剰余金又は期首欠損金（△）	1,336,911,878	1,495,229,498
剰余金増加額又は欠損金減少額	102,912,542	143,643,413
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	102,912,542	143,643,413
剰余金減少額又は欠損金増加額	88,843,381	123,617,002
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	88,843,381	123,617,002
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	1,438,050,813	1,433,151,989

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき中間計算期間末日の基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
3. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	計算期間末日の取扱い 当ファンドは、原則として毎年7月15日を計算期間の末日としておりますが、該当日が休業日のため、前計算期間末日を2024年7月16日、当中間計算期間末日を2025年1月16日としております。

(中間貸借対照表に関する注記)

期別	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	4,171,627,877口	4,240,130,203口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.3584円 (13,584円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 1.3380円 (13,380円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第24期中間計算期間 自 2023年7月19日 至 2024年1月18日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として委託者報酬の中から支弁している額	損保ジャパン・TCW外国株式マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の8.2以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。	同左

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第24期 2024年7月16日現在	第25期中間計算期間末 2025年1月16日現在
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(その他の注記)

項目	第24期 自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	第25期中間計算期間 自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
期首元本額	4,070,613,773円	4,171,627,877円
期中追加設定元本額	755,947,672円	413,887,096円
期中一部解約元本額	654,933,568円	345,384,770円

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引等に関する注記)

該当事項はありません。

(参考)

ハッピーエイジング・ファンド ハッピーエイジング20／ハッピーエイジング30／ハッピーエイジ

グ４０／ハッピーエイジング５０／ハッピーエイジング６０の主要投資対象の状況は以下のとおりです。

＊なお、以下は参考情報であり、監査証明の対象ではありません。

S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

貸借対照表

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	501,719,323	461,538,381
株式	35,563,150,100	65,753,980,440
未収配当金	62,289,900	165,755,450
未収利息	137	1,390
流動資産合計	36,127,159,460	66,381,275,661
資産合計	36,127,159,460	66,381,275,661
負債の部		
流動負債		
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	9,022,046,761	17,472,166,289
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	27,105,112,699	48,909,109,372
元本等合計	36,127,159,460	66,381,275,661
純資産合計	36,127,159,460	66,381,275,661
負債純資産合計	36,127,159,460	66,381,275,661

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

期別	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	9,022,046,761口	17,472,166,289口
2. 計算期間の末日における1口当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 4.0043円 (40,043円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 3.7993円 (37,993円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額は ありません。	同左

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（その他の注記）

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	11,254,715,997円	9,022,046,761円
同期中追加設定元本額	712,048,082円	8,640,957,958円
同期中一部解約元本額	2,944,717,318円	190,838,430円
元本の内訳*		
損保ジャパン日本興亜ラージキャップ・バリュー・ファンド（F o F s 用）（適格機関投資家専用）	3,647,753,455円	11,873,892,638円
ハッピーエイジング20	1,905,545,902円	2,004,059,631円
ハッピーエイジング30	1,568,412,195円	1,619,172,144円
ハッピーエイジング40	1,188,101,327円	1,221,878,017円
ハッピーエイジング50	291,751,237円	304,194,425円
ハッピーエイジング60	58,586,582円	59,556,978円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	155,356,374円	168,930,573円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	105,542,418円	113,409,233円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	79,580,445円	82,845,684円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	21,020,447円	23,878,188円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	83,460円	66,783円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	117,275円	132,611円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	195,644円	149,384円
計	9,022,046,761円	17,472,166,289円

*当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

S J A M スモールキャップ・マザーファンド

貸借対照表

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	196,320,582	258,382,205
株式	21,001,603,600	20,881,387,270
未収配当金	38,877,100	64,179,200
未収利息	53	778
流動資産合計	21,236,801,335	21,203,949,453

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産合計	21,236,801,335	21,203,949,453
負債の部		
流動負債		
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	4,159,185,410	4,272,275,677
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	17,077,615,925	16,931,673,776
元本等合計	21,236,801,335	21,203,949,453
純資産合計	21,236,801,335	21,203,949,453
負債純資産合計	21,236,801,335	21,203,949,453

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。

（貸借対照表に関する注記）

期別	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	4,159,185,410口	4,272,275,677口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 5.1060円 (51,060円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 4.9632円 (49,632円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	（1）有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 （2）デリバティブ取引 該当事項はありません。 （3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（その他の注記）

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	4,365,939,040円	4,159,185,410円
同期中追加設定元本額	325,157,743円	286,404,920円
同期中一部解約元本額	531,911,373円	173,314,653円
元本の内訳※		

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
ハッピーエイジング20	1,473,518,844円	1,528,333,575円
ハッピーエイジング30	1,212,804,475円	1,234,811,377円
ハッピーエイジング40	918,734,322円	931,817,408円
ハッピーエイジング50	225,604,216円	231,980,222円
ハッピーエイジング60	45,304,579円	45,418,794円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	123,490,902円	129,533,036円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	81,501,076円	88,061,632円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	61,451,949円	63,652,742円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	16,467,994円	18,404,278円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	65,543円	50,744円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	90,138円	96,267円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	151,372円	115,602円
計	4,159,185,410円	4,272,275,677円

＊当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

貸借対照表

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	271,203,645	346,282,754
国債証券	22,069,977,500	22,483,231,500
地方債証券	680,001,000	671,299,000
特殊債券	836,571,006	428,792,875
社債券	8,217,770,000	8,171,285,000
未収利息	51,810,504	53,589,743
前払費用	2,219,065	5,610,760
流動資産合計	32,129,552,720	32,160,091,632
資産合計	32,129,552,720	32,160,091,632
負債の部		
流動負債		
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	23,758,563,820	23,925,162,806
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	8,370,988,900	8,234,928,826
元本等合計	32,129,552,720	32,160,091,632
純資産合計	32,129,552,720	32,160,091,632
負債純資産合計	32,129,552,720	32,160,091,632

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）	
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券

2. 費用・収益の計上基準	個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。 有価証券売買等損益の計上基準 約定日基準で計上しております。
---------------	--

（貸借対照表に関する注記）

期別	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	23,758,563,820口	23,925,162,806口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 1.3523円 (1万口当たり純資産額) (13,523円)	1口当たり純資産額 1.3442円 (1万口当たり純資産額) (13,442円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	（１）有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 （２）デリバティブ取引 該当事項はありません。 （３）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（その他の注記）

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	20,014,367,959円	23,758,563,820円
同期中追加設定元本額	5,107,910,940円	1,971,522,382円
同期中一部解約元本額	1,363,715,079円	1,804,923,396円
元本の内訳＊		
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（２％コース）（F o F s 用）（適格機関投資家専用）	15,956,153円	14,991,657円
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（４％コース）（F o F s 用）（適格機関投資家専用）	40,649,581円	35,798,202円
損保ジャパン国内債券ファンド（適格機関投資家専用）	2,039,461,231円	1,446,422,932円
マルチアセット戦略ファンド（４％型）（非課税適格機関投資家専用）	407,743,908円	408,469,478円
損保ジャパン日本債券ファンド	954,874,767円	944,613,345円
ハッピーエイジング２０	420,343,406円	439,037,574円
ハッピーエイジング３０	1,635,553,092円	1,676,845,194円
ハッピーエイジング４０	7,253,685,550円	7,408,281,073円
ハッピーエイジング５０	5,019,827,718円	5,197,537,315円
ハッピーエイジング６０	3,024,133,869円	3,052,624,580円
好配当グローバルREITプレミアム・ファンド 通貨セレクトコース	105,844,335円	95,577,685円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド２０３５	1,860,032,520円	2,085,457,700円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド２０４５	690,969,059円	775,887,476円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド２０５５	268,461,655円	319,510,551円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド２０６５	18,217,588円	20,701,752円

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	1,866,012円	2,013,570円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	612,414円	818,835円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	330,962円	573,887円
計	23,758,563,820円	23,925,162,806円

＊当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

貸借対照表

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	80,701,047	128,682,455
コール・ローン	79,037,999	177,075,451
国債証券	15,735,642,487	15,852,120,560
派生商品評価勘定	1,049,180	-
未収利息	102,373,304	119,597,229
前払費用	34,725,856	27,632,978
流動資産合計	16,033,529,873	16,305,108,673
資産合計	16,033,529,873	16,305,108,673
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	1,061,724	-
流動負債合計	1,061,724	-
負債合計	1,061,724	-
純資産の部		
元本等		
元本	7,596,095,620	7,938,901,907
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	8,436,372,529	8,366,206,766
元本等合計	16,032,468,149	16,305,108,673
純資産合計	16,032,468,149	16,305,108,673
負債純資産合計	16,033,529,873	16,305,108,673

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券 個別法に基づき、以下のとおり、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として日本証券業協会発表の店頭基準気配値段、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 ただし、適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。 外貨建取引等の処理基準

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。
----------------------------	--

(貸借対照表に関する注記)

期別	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	7,596,095,620口	7,938,901,907口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 2.1106円 (1万口当たり純資産額) (21,106円)	1口当たり純資産額 2.0538円 (1万口当たり純資産額) (20,538円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引等に関する注記に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでデリバティブ取引における名目的な契約額または想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(その他の注記)

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	6,874,125,125円	7,596,095,620円
同期中追加設定元本額	1,154,589,902円	500,669,292円
同期中一部解約元本額	432,619,407円	157,863,005円
元本の内訳*		
ハッピーエイジング20	810,471,324円	855,155,198円
ハッピーエイジング30	2,627,920,560円	2,721,814,783円
ハッピーエイジング40	2,119,145,273円	2,186,407,702円
ハッピーエイジング50	622,627,337円	651,265,636円
ハッピーエイジング60	431,940,396円	440,475,695円
損保ジャパン外国債券ファンド（為替ヘッジなし）	455,257,732円	448,476,641円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2035	435,928,085円	531,394,221円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2045	55,261,967円	61,871,348円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2055	29,529,840円	32,245,038円
SOMPOターゲットイヤー・ファンド2065	6,565,601円	7,557,014円
SOMPO世界分散ファンド（安定型）＜DC年金＞	245,945円	265,371円
SOMPO世界分散ファンド（安定成長型）＜DC年金＞	300,278円	408,196円
SOMPO世界分散ファンド（成長型）＜DC年金＞	901,282円	1,565,064円
計	7,596,095,620円	7,938,901,907円

＊当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）

通貨関連

種類	2024年7月16日 現在				2025年1月16日 現在			
	契約額等 (円)	うち1年 超	時価 (円)	評価損益 (円)	契約額等 (円)	うち1年 超	時価 (円)	評価損益 (円)
市場取引以外の取引 為替予約取引								
買建	653,679,200	—	652,617,476	△1,061,724	—	—	—	—
ドル	653,679,200	—	652,617,476	△1,061,724	—	—	—	—
売建	656,678,000	—	655,628,820	1,049,180	—	—	—	—
ユーロ	656,678,000	—	655,628,820	1,049,180	—	—	—	—
合計	1,310,357,200	—	1,308,246,296	△12,544	—	—	—	—

（注）時価の算定方法

1. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

①計算期間末日において予約為替の受渡日（以下、「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該仲値で評価しております。

②計算期間末日において当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

（イ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。

（ロ）計算期間末日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。

2. 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

3. 換算において円未満の端数は切捨てております。

※上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド

貸借対照表

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金	581,133,440	503,714,441
コール・ローン	415,041,953	632,705,456
株式	25,389,322,264	25,862,937,737
投資証券	1,237,530,658	1,083,526,844
未収配当金	22,344,091	18,554,403
未収利息	113	1,906
流動資産合計	27,645,372,519	28,101,440,787
資産合計	27,645,372,519	28,101,440,787
負債の部		
流動負債		
流動負債合計	-	-
負債合計	-	-
純資産の部		
元本等		
元本	4,825,887,236	4,633,376,943
剰余金		
剰余金又は欠損金（△）	22,819,485,283	23,468,063,844

	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
科 目	金額（円）	金額（円）
元本等合計	27,645,372,519	28,101,440,787
純資産合計	27,645,372,519	28,101,440,787
負債純資産合計	27,645,372,519	28,101,440,787

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券等の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。 投資証券 移動平均法に基づき、以下の通り原則として時価で評価しております。 原則として取引所における計算期間末日の最終相場（外貨建証券等の場合は計算期間末日において知りうる直近の最終相場）で評価しております。計算期間末日に当該取引所の最終相場がない場合には当該取引所における直近の日の最終相場で評価しておりますが、直近の日の最終相場によることが適当でないと認められた場合は、当該取引所における計算期間末日又は直近の日の気配相場で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として、配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	有価証券売買等損益及び為替差損益の計上基準 約定日基準で計上しております。 外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産計算規則」第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同第61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

（貸借対照表に関する注記）

期別	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 受益権の総数	4,825,887,236口	4,633,376,943口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 5.7286円 (57,286円)	1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額) 6.0650円 (60,650円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	2024年7月16日現在	2025年1月16日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	当該ファンドの保有する金融商品は、原則としてすべて時価評価されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務）は短期間で決済されるため、帳簿価額を時価としております。	同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等による場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（その他の注記）

項目	自 2023年7月19日 至 2024年7月16日	自 2024年7月17日 至 2025年1月16日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当該親投資信託の元本額	5,131,731,342円	4,825,887,236円
同期中追加設定元本額	408,891,180円	226,981,339円
同期中一部解約元本額	714,735,286円	419,491,632円
元本の内訳＊		
損保ジャパン－TCW外国株式ファンド A コース（為替ヘッジあり）	506,711,879円	530,086,402円
損保ジャパン－TCW外国株式ファンド B コース（為替ヘッジなし）	707,197,864円	667,261,902円
ハッピーエイジング20	1,659,586,222円	1,595,253,645円
ハッピーエイジング30	1,027,309,512円	969,322,941円
ハッピーエイジング40	736,389,371円	692,130,448円
ハッピーエイジング50	168,591,313円	160,647,761円
ハッピーエイジング60	20,101,075円	18,673,844円
計	4,825,887,236円	4,633,376,943円

＊当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（有価証券に関する注記）
該当事項はありません。

（デリバティブ取引等に関する注記）
該当事項はありません。

4【委託会社等の概況】

（１）【資本金の額】

（2025年1月末現在）

資本金の額	1,550百万円
会社が発行する株式の総数	50,000株
発行済株式総数	24,085株

最近5年間ににおける主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

（２）【事業の内容及び営業の状況】

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）ならびに証券投資信託の募集又は私募（第二種金融商品取引業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める投資一任契約に基づく運用（投資運用業）および投資助言業務を行っています。

委託会社の運用する投資信託（親投資信託を除きます。）は2025年1月末現在、計303本（追加型株式投資信託172本、単位型株式投資信託94本、単位型公社債投資信託37本）であり、その純資産総額の合計は2,379,158百万円です。

（３）【その他】

（１） 定款の変更

該当事項はありません。

（２） 訴訟事件その他の重要事項

該当事項はありません。

5【委託会社等の経理状況】

1. 委託会社であるSOMPOアセットマネジメント株式会社（以下「委託会社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）、ならびに、同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

また、委託会社の中間財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）、ならびに、同規則第282条及び第306条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）により作成しております。

2. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

また、委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第40期中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額（千円）		金額（千円）	
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金・預金			3,546,171		4,034,755
2 前払費用			101,203		112,742
3 未収委託者報酬			1,194,368		1,702,469
4 未収運用受託報酬			2,618,849		4,148,794
5 その他			3,043		2,289
流動資産合計			7,463,635		10,001,052
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物	※1		8,078		3,942
(2) 器具備品	※1		73,225		43,412
有形固定資産合計			81,304		47,354
2 無形固定資産					
(1) 電話加入権			4,535		4,535
無形固定資産合計			4,535		4,535
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券			658,124		591,110
(2) 長期差入保証金			173,961		173,961
(3) 繰延税金資産			348,349		341,629
(4) その他			32		31
投資その他の資産合計			1,180,467		1,106,732
固定資産合計			1,266,307		1,158,622
資産合計			8,729,943		11,159,674

		前事業年度 (2023年3月31日)		当事業年度 (2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額（千円）		金額（千円）	
(負債の部)					
I 流動負債					
1 預り金			7,771		15,473
2 未払金					
(1) 未払配当金	※2	770,000		1,150,000	
(2) 未払手数料		460,087		606,388	
(3) その他未払金	※2	141,725	1,371,812	216,600	1,972,988
3 未払費用			1,873,823		2,951,081
4 未払消費税等			214,504		301,562
5 未払法人税等			262,245		526,818
6 賞与引当金			205,460		185,326
7 役員賞与引当金			6,600		8,100
流動負債合計			3,942,217		5,961,351
II 固定負債					

1 退職給付引当金			245,172		257,375
2 資産除去債務			9,422		9,582
固定負債合計			254,594		266,957
負債合計			4,196,812		6,228,309
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金			1,550,000		1,550,000
2 資本剰余金					
(1) 資本準備金			413,280		413,280
資本剰余金合計			413,280		413,280
3 利益剰余金					
(1) その他利益剰余金					
繰越利益剰余金			2,544,383		2,875,330
利益剰余金合計			2,544,383		2,875,330
株主資本合計			4,507,664		4,838,610
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金			25,466		92,755
評価・換算差額等合計			25,466		92,755
純資産合計			4,533,130		4,931,365
負債・純資産合計			8,729,943		11,159,674

(2) 【損益計算書】

		前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
区分	注記 番号	金額（千円）		金額（千円）	
I 営業収益					
1 委託者報酬		6,268,013		8,333,682	
2 運用受託報酬		5,283,477	11,551,491	6,117,209	14,450,891
II 営業費用					
1 支払手数料		2,600,324		3,499,242	
2 広告宣伝費		25,984		14,970	
3 公告費		200		200	
4 調査費		3,945,034		5,246,032	
(1) 調査費		1,032,243		1,274,945	
(2) 委託調査費		2,909,783		3,968,103	
(3) 図書費		3,007		2,983	
5 営業雑経費		149,447		146,958	
(1) 通信費		13,489		13,473	
(2) 印刷費		115,724		111,483	
(3) 諸会費		20,233	6,720,990	22,001	8,907,404
III 一般管理費					
1 給料		1,754,897		1,780,148	
(1) 役員報酬		59,540		58,490	
(2) 給料・手当		1,460,378		1,479,591	
(3) 賞与		234,978		242,065	
2 福利厚生費		231,703		249,823	
3 交際費		10,365		15,575	
4 寄付金		1,300		1,330	
5 旅費交通費		29,102		35,906	
6 法人事業税		53,595		61,266	
7 租税公課		26,705		19,614	
8 不動産賃借料		221,573		221,404	
9 退職給付費用		87,487		91,397	
10 賞与引当金繰入		205,460		185,326	
11 役員賞与引当金繰入		6,600		8,100	
12 固定資産減価償却費		39,296		38,014	
13 諸経費		437,986	3,106,075	459,163	3,167,070
営業利益			1,724,425		2,376,417
IV 営業外収益					
1 受取配当金		8,687		476	
2 受取利息		0		0	
3 有価証券償還益		3,726		—	
4 為替差益		11,910		9,754	
5 保険配当金		621		626	
6 雑益		2,493	27,439	2,615	13,473
V 営業外費用					
1 有価証券売却損		—		7,678	
2 有価証券償還損		—		278	

3	事務過誤費		9,164		228,515	
4	雑損		394	9,558	241	236,712
経常利益				1,742,306		2,153,177
VI 特別損失						
1	有価証券評価損		4,032		—	
2	固定資産除却損	※1	—	4,032	0	0
税引前当期純利益				1,738,274		2,153,177
法人税・住民税及び事業税				522,813		695,208
法人税等調整額				30,682		△ 22,977
当期純利益				1,184,778		1,480,946

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	2,129,605	2,129,605	4,092,885
当期変動額						
剰余金の配当				△ 770,000	△ 770,000	△ 770,000
当期純利益				1,184,778	1,184,778	1,184,778
株主資本以外 の項目の当期 変動額（純 額）						
当期変動額合 計	—	—	—	414,778	414,778	414,778
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	2,544,383	2,544,383	4,507,664

	評価・換算差額等		純資産 合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換 算差額等 合計	
当期首残高	45,985	45,985	4,138,870
当期変動額			
剰余金の配当			△ 770,000
当期純利益			1,184,778
株主資本以外の 項目の当期 変動額（純 額）	△20,518	△20,518	△20,518
当期変動額合 計	△20,518	△20,518	394,259
当期末残高	25,466	25,466	4,533,130

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計
		資本 準備金	資本剰余金合 計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	2,544,383	2,544,383	4,507,664
当期変動額						
剰余金の配当				△ 1,150,000	△ 1,150,000	△ 1,150,000
当期純利益				1,480,946	1,480,946	1,480,946
株主資本以外の 項目の当期 変動額（純 額）						
当期変動額合 計	—	—	—	330,946	330,946	330,946
当期末残高	1,550,000	413,280	413,280	2,875,330	2,875,330	4,838,610

	評価・換算差額等
--	----------

	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	純資産合計
当期首残高	25,466	25,466	4,533,130
当期変動額			
剰余金の配当			△ 1,150,000
当期純利益			1,480,946
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	67,288	67,288	67,288
当期変動額合計	67,288	67,288	398,234
当期末残高	92,755	92,755	4,931,365

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法
- その他有価証券
- 市場価格のない株式等以外のもの
- 決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。
- 市場価格のない株式等
- 移動平均法による原価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却の方法
- 有形固定資産
- 定額法を採用しております。
- なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
- 建物 15年
- 器具備品 2～20年
3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準
- 外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
4. 引当金の計上基準
- (1) 賞与引当金
- 従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上しております。
- (2) 役員賞与引当金
- 役員賞与の支給に充てるため、当事業年度における支給見込額を計上しております。
- (3) 退職給付引当金
- 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における要支給額を計上しております。
- 退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）に定める簡便法によっております。
5. 収益及び費用の計上基準
- 当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。
- (1) 投資信託事業は、信託約款に基づきファンドごとの日々の純資産総額に対し信託報酬率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しております。
- また、成功報酬型の収益は、信託約款に基づきファンドごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しております。
- (2) 投資顧問事業は、投資顧問契約に基づきファンドごとの資産残高に対し報酬料率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しております。
- また、成功報酬型の収益は、投資顧問契約に基づき契約ごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しております。
6. その他財務諸表作成のための基礎となる事項
- (1) 消費税等の会計処理
- 税抜方式を採用しております。

注記事項

（貸借対照表関係）

※ 1 有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりであります。

（単位：千円）

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)

建物	104,035	108,411
器具備品	143,638	177,083

※ 2 関係会社項目

関係会社に対する負債は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
未払金		
未払配当金	770,000	1,150,000
その他未払金	—	188

(損益計算書関係)

※ 1 固定資産除却損の内容は、次のとおりであります。

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
器具備品	—	0

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度 期末株式数
普通株式	24,085株	—株	—株	24,085株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の 種類	配当金の 総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2023年3月30日 取締役会	普通 株式	770,000千円	31,970円	—	2023年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
該当事項はありません。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度 期首株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度 期末株式数
普通株式	24,085株	—株	—株	24,085株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の 種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日
2024年3月28日 取締役会	普通 株式	1,150,000千円	47,747円	—	2024年3月31日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの
該当事項はありません。

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、主として短期的な預金及び一部の有価証券によって運用しており、経営として許容できる範囲内にリスクを制御するよう、適切に資産運用を行っております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収委託者報酬及び未収運用受託報酬は、そのほとんどが信託財産から支払われるため、回収リスクは僅少であります。

投資有価証券は、主に投資信託を保有しており、今後の基準価額の下落によっては、売却損・評価損計上による利益減少や、評価差額金の減少により純資産が減少するなど、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

当社は、短期的な預金について、格付の高い金融機関とのみ取引を行っております。

価格変動リスクについては、四半期ごとに時価の状況等を把握し、当該状況については資産運用管理規程に従い、経理担当部が取締役会等へ報告し、適切に管理を行っております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券（※2）	657,374	657,374	—
資産計	657,374	657,374	—

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
投資有価証券（※2）	590,360	590,360	—
資産計	590,360	590,360	—

（※1）「現金・預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未払金」及び「未払費用」は、短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（※2）以下の市場価格のない株式等は、投資有価証券には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

（単位：千円）

区分	前事業年度 （2023年3月31日）	当事業年度 （2024年3月31日）
非上場株式	750	750

注1. 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	3,546,149	—	—	—
(2) 未収委託者報酬	1,194,368	—	—	—
(3) 未収運用受託報酬	2,618,849	—	—	—
(4) 投資有価証券 その他有価証券のうち 満期があるもの	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
債券	—	—	—	—
その他	147,960	90,026	150,462	268,926
合計	7,507,327	90,026	150,462	268,926

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
(1) 預金	4,034,755	—	—	—
(2) 未収委託者報酬	1,702,469	—	—	—
(3) 未収運用受託報酬	4,148,794	—	—	—
(4) 投資有価証券 その他有価証券のうち 満期があるもの	—	—	—	—
株式	—	—	—	—
債券	—	—	—	—
その他	12,783	257,883	167,593	152,101
合計	9,898,803	257,883	167,593	152,101

注2. 社債、新株予約権付社債及び長期借入金の決算日後の返済予定額

該当事項はありません。

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
レベル2の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の算定に係るインプットを用いて算定した時価
レベル3の時価	観察できない時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

（1）時価で貸借対照表に計上している金融商品

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	—	462,624	194,750	657,374
資産計	—	462,624	194,750	657,374

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	—	333,213	257,147	590,360
資産計	—	333,213	257,147	590,360

（2）期首残高から当事業年度末残高への調整表、当事業年度の損益に記載した評価損益

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	投資有価証券	合計
期首残高	180,730	180,730
当事業年度の損益又は評価・換算差額等		
損益の計上	—	—
その他有価証券評価差額金	14,020	14,020
購入、売却、発行及び決済		
購入	—	—
売却	—	—
発行	—	—
決済	—	—
レベル3の時価への振替	—	—
レベル3の時価からの振替	—	—
当事業年度末残高	194,750	194,750
当事業年度の損益に計上した額のうち貸借対照表において保有する金融資産又は金融負債の評価損益	—	—

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	投資有価証券	合計
期首残高	194,750	194,750
当事業年度の損益又は評価・換算差額等		
損益の計上	0	0
その他有価証券評価差額金	51,397	51,397
購入、売却、発行及び決済		
購入	11,100	11,100
売却	100	100
発行	—	—
決済	—	—
レベル3の時価への振替	—	—

レベル3の時価からの振替	—	—
当事業年度末残高	257,147	257,147
当事業年度の損益に計上した額のうち貸借対照表において保有する金融資産又は金融負債の評価損益	—	—

（３）時価の評価プロセスの説明

時価の算定にあたっては、投資信託の基準価額を用いております。

（有価証券関係）

１．売買目的有価証券

該当事項はありません。

２．満期保有目的の債券

該当事項はありません。

３．子会社株式及び関連会社株式

該当事項はありません。

４．その他有価証券で時価のあるもの

前事業年度（2023年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	371,165	294,700	76,465
	小計	371,165	294,700	76,465
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	286,209	330,000	△43,790
	小計	286,209	330,000	△43,790
合計		657,374	624,700	32,674

当事業年度（2024年3月31日）

（単位：千円）

	種類	貸借対照表 計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	479,618	336,668	142,950
	小計	479,618	336,668	142,950
貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	110,742	120,000	△ 9,258
	小計	110,742	120,000	△ 9,258
合計		590,360	456,668	133,692

５．売却したその他有価証券

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	—	—	—
(2) 債券	—	—	—

(3) その他	—	—	—
合計	—	—	—

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
(1) 株式	—	—	—
(2) 債券	—	—	—
(3) その他	187,421	22,295	29,973
合計	187,421	22,295	29,973

（退職給付関係）

1. 採用している退職給付制度の概要（出向受入者に対する出向元への退職金負担額を除く。）

当社は、従業員の退職給付に充てるため、非積立型の確定給付制度及び確定拠出制度を採用しております。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給しております。

なお、当社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算しております。

2. 簡便法を適用した確定給付制度

（1）簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
退職給付引当金の期首残高	208,284	245,172
退職給付費用	37,940	40,528
退職給付の支払額	△ 1,052	△ 28,325
退職給付引当金の期末残高	245,172	257,375

（2）退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

（単位：千円）

	前事業年度 （2023年3月31日）	当事業年度 （2024年3月31日）
非積立型制度の退職給付債務	245,172	257,375
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	245,172	257,375
退職給付引当金	245,172	257,375
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	245,172	257,375

（3）退職給付費用

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
簡便法で計算した退職給付費用	37,940	40,528

3. 確定拠出制度

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
当社の確定拠出制度への要拠出額	41,080	43,710

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
繰延税金資産		
ソフトウェア損金算入限度超過額	176,793	169,388
退職給付引当金	75,071	78,808
賞与引当金	62,912	56,746
繰延資産損金算入限度超過額	21,910	43,352
未払事業税	15,571	26,319
未払金否認	7,604	8,118
その他	7,100	7,165
繰延税金資産 小計	366,961	389,896
将来減算一時差異等の合計に係る 評価性引当額	△ 4,119	△ 4,168
評価性引当額 小計	△ 4,119	△ 4,168
繰延税金資産 合計	362,842	385,728
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	△ 11,240	△ 40,937
株式譲渡損益	△ 3,031	△ 3,031
固定資産除去価額	△ 222	△ 131
繰延税金負債 合計	△ 14,493	△ 44,099
繰延税金資産の純額	348,349	341,629

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

3. 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

グループ通算制度を適用しております。

また、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っております。

(資産除去債務関係)

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本社事務所及び事業継続用事務所の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から15年と見積り、割引率は0.2%～1.8%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
期首残高	9,265	9,422
取得	—	—
時の経過による調整額	157	159
期末残高	9,422	9,582

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資信託事業（基本報酬）	6,264,984	8,199,234
投資信託事業（成功報酬）	3,029	134,447
投資顧問事業（基本報酬）	2,834,396	2,793,161
投資顧問事業（成功報酬）	2,449,080	3,324,047
合計	11,551,491	14,450,891

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	営業収益
年金積立金管理運用独立行政法人	2,064,709

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	営業収益
年金積立金管理運用独立行政法人	3,413,256

(関連当事者情報)

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主（会社等に限る。）等
該当事項はありません。

(2) 財務諸表提出会社の子会社及び関連会社等
該当事項はありません。

（３）財務諸表提出会社と同一の親会社を持つ会社等及び財務諸表提出会社のその他の関係会社の子会社等

前事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (億円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券株式会社	東京都新宿区	30	確定拠出年金業	—	投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託代行手数料の支払（注1）	677,364	未払手数料	168,088
同一の親会社を持つ会社	SOMPOひまわり生命保険株式会社	東京都新宿区	172	生命保険業	—	投資顧問契約に基づく資産運用	運用受託報酬の受取り（注2）	176,500	未収運用受託報酬	96,493

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

注2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

（注2）運用受託報酬の受取りについては、一般的取引条件によっております。

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金 (億円)	事業の内容	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
同一の親会社を持つ会社	損保ジャパンDC証券株式会社	東京都新宿区	30	確定拠出年金業	—	投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託代行手数料の支払（注1）	838,690	未払手数料	218,649
同一の親会社を持つ会社	SOMPOリスクマネジメント株式会社	東京都新宿区	0	リスクコンサルティング業	—	投資信託等に係る委託調査	投資信託等委託調査費の支払（注2）	180,252	未払費用	171,632

注1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

注2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）代行手数料の支払いについては、一般的取引条件によっております。

（注2）委託調査費の支払いについては、一般的取引条件によっております。

（４）財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等
役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等との取引はありません。

２．親会社又は重要な関連会社に関する注記

（１）親会社情報

SOMPOホールディングス株式会社（東京証券取引所に上場）

（２）重要な関連会社の要約財務情報

関連会社はありません。

（１株当たり情報）

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1株当たり純資産額（円）	188,213.85	204,748.41
1株当たり当期純利益金額（円）	49,191.55	61,488.32
（注）１．潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		
（注）２．1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。		
	前事業年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）	当事業年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）
当期純利益（千円）	1,184,778	1,480,946
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	1,184,778	1,480,946
期中平均株式数（株）	24,085	24,085

中間財務諸表
（１）中間貸借対照表

		第40期中間会計期間 (2024年9月30日)
区分	注記 番号	金額（千円）
(資産の部)		
I 流動資産		
1 現金・預金		3,776,359
2 前払費用		101,733
3 未収委託者報酬		1,881,510
4 未収運用受託報酬		885,944
5 その他	※1	5,724
流動資産合計		6,651,273
II 固定資産		
1 有形固定資産	※2	41,741
2 無形固定資産		4,535
3 投資その他の資産		
(1) 投資有価証券		542,225
(2) 長期差入保証金		173,961
(3) 繰延税金資産		343,198
(4) その他		31
投資その他の資産合計		1,059,415
固定資産合計		1,105,692
資産合計		7,756,965

		第40期中間会計期間 (2024年9月30日)
区分	注記 番号	金額（千円）
(負債の部)		
I 流動負債		
1 預り金		12,489
2 未払金		
(1) 未払手数料		640,510
(2) その他未払金		176,695
未払金合計		817,206
3 未払費用		588,234
4 未払法人税等		329,073
5 賞与引当金		125,130
6 役員賞与引当金		2,400
流動負債合計		1,874,533
II 固定負債		
1 退職給付引当金		280,746
2 資産除去債務		9,664
固定負債合計		290,411
負債合計		2,164,944
(純資産の部)		

I 株主資本		
1 資本金		1,550,000
2 資本剰余金		
(1) 資本準備金		413,280
資本剰余金合計		413,280
3 利益剰余金		
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		3,549,296
利益剰余金合計		3,549,296
株主資本合計		5,512,576
II 評価・換算差額等		
1 その他有価証券評価差額金		79,445
評価・換算差額等合計		79,445
純資産合計		5,592,021
負債・純資産合計		7,756,965

(2) 中間損益計算書

		第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	
区分	注記 番号	金額（千円）	
I 営業収益			
1 委託者報酬		4,678,028	
2 運用受託報酬		1,628,384	6,306,413
II 営業費用			
1 支払手数料		1,921,904	
2 広告宣伝費		4,205	
3 公告費		200	
4 調査費		1,700,010	
(1) 調査費		769,941	
(2) 委託調査費		927,733	
(3) 図書費		2,335	
5 営業雑経費		84,240	
(1) 通信費		8,767	
(2) 印刷費		57,722	
(3) 諸会費		17,750	3,710,561
III 一般管理費			
1 給料		871,079	
(1) 役員報酬		34,822	
(2) 給料・手当		758,455	
(3) 賞与		77,801	
2 福利厚生費		130,329	
3 交際費		8,136	
4 旅費交通費		17,178	
5 法人事業税		29,270	
6 租税公課		4,312	
7 不動産賃借料		111,403	
8 退職給付費用		48,350	
9 賞与引当金繰入		125,130	
10 役員賞与引当金繰入		2,400	
11 固定資産減価償却費	※1	10,571	
12 諸経費		261,182	1,619,343
営業利益			976,508
IV 営業外収益			
1 受取配当金		4,824	
2 受取利息		0	
3 有価証券償還益		18,714	
4 雑益		468	24,007
V 営業外費用			
1 有価証券売却損		301	
2 為替差損		5,254	
3 事務過誤費		13,041	
4 雑損		58	18,656
経常利益			981,860
税引前中間純利益			981,860

法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額			303,588 4,306
中間純利益			673,965

(3) 中間株主資本等変動計算書

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本					株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計	
				繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,550,000	413,280	413,280	2,875,330	2,875,330	4,838,610
当中間期変動額						
中間純利益				673,965	673,965	673,965
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）						
当中間期変動 額合計	—	—	—	673,965	673,965	673,965
当中間期末残高	1,550,000	413,280	413,280	3,549,296	3,549,296	5,512,576

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	92,755	92,755	4,931,365
当中間期変動額			
中間純利益			673,965
株主資本以外の 項目の当中間期 変動額（純額）	△ 13,310	△ 13,310	△ 13,310
当中間期変動 額合計	△ 13,310	△ 13,310	660,655
当中間期末残高	79,445	79,445	5,592,021

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

中間会計期間末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）を採用しております。

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年
器具備品	2～20年

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、賞与支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(2) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、当事業年度における支給見込額の当中間会計期間負担額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当中間会計期間末における要支給額を計上しております。

退職給付債務の計算に当たっては、「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号）に定める簡便法によっております。

5. 収益及び費用の処理方法

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) 投資信託事業においては、信託約款に基づきファンドごとの日々の純資産総額に対し信託報酬率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しています。

- また、成功報酬型の収益は、信託約款に基づきファンドごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しています。
- (2) 投資顧問事業においては、投資顧問契約に基づきファンドごとの資産残高に対し報酬料率を乗じた額を、運用期間に応じて収益として認識しています。
- また、成功報酬型の収益は、投資顧問契約に基づきファンドごとに取り決めている運用パフォーマンスの結果に応じ、報酬を受領する権利が確定した時点で収益を認識しています。

6. 消費税等の会計処理方法
税抜方式を採用しております。
7. グループ通算制度の適用
グループ通算制度を採用しております。

注記事項

（中間貸借対照表関係）

	第40期中間会計期間 (2024年9月30日)
※1 消費税等の取扱い	仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、流動資産の「その他」に含めて表示しております。
※2 有形固定資産の減価償却累計額	296,066千円

（中間損益計算書関係）

	第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
※1 減価償却実施額 有形固定資産	10,571千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当中間会計期間 増加株式数（株）	当中間会計期間 減少株式数（株）	当中間会計期間 末株式数（株）
発行済株式				
普通株式	24,085	—	—	24,085
合計	24,085	—	—	24,085
自己株式				
普通株式	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

該当事項はありません。

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

（金融商品関係）

第40期中間会計期間（2024年9月30日）

1. 金融商品の時価等に関する事項

中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
投資有価証券（※2）	541,475	541,475	—
資産計	541,475	541,475	—

(※1) 「現金・預金」、「未収委託者報酬」、「未収運用受託報酬」、「未払金」及び「未払費用」は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、記載を省略しております。

(※2) 市場価格のない株式等は、投資有価証券には含まれておりません。当該金融商品の中間貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	750

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に係るインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
レベル2の時価	観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の算定に係るインプットを用いて算定した時価
レベル3の時価	観察できない時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

（1）時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

第40期中間会計期間（2024年9月30日）

（単位：千円）

区分	時価			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
投資有価証券	—	294,325	247,150	541,475
資産計	—	294,325	247,150	541,475

（注）時価の算定に用いた評価技法及び時価の算定に係るインプットの説明

投資有価証券

投資信託は、基準価額によっておりレベル2又はレベル3の時価に分類しております。

（2）期首残高から中間期末残高への調整表、中間会計期間の損益に記載した評価損益

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：千円）

	投資有価証券	合計
期首残高	257,147	257,147
中間会計期間の損益又は評価・換算差額等		
損益の計上	△301	△301
その他有価証券評価差額金	2	2
購入、売却、発行及び決済		
購入	—	—
売却	△9,699	△9,699
発行	—	—
決済	—	—
レベル3の時価への振替	—	—
レベル3の時価からの振替	—	—
中間期末残高	247,150	247,150
中間会計期間の損益に計上した額のうち中間貸借対照表において保有する金融資産又は金融負債の評価損益	—	—

（3）時価の評価プロセスの説明

時価の算定にあたっては、投資信託の基準価額を用いております。

（有価証券関係）

第40期中間会計期間（2024年9月30日）

1. 満期保有目的の債券

該当事項はありません。

2. 子会社株式及び関連会社株式

該当事項はありません。

3. その他有価証券

（単位：千円）

	種類	中間貸借対照表 計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えるもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	343,507	216,968	126,539
	小計	343,507	216,968	126,539
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの	(1) 株式	—	—	—
	(2) 債券	—	—	—
	(3) その他	197,968	210,000	△12,032
	小計	197,968	210,000	△12,032
合計		541,475	426,968	114,507

（デリバティブ取引関係）

該当事項はありません。

（ストック・オプション等関係）

該当事項はありません。

（資産除去債務関係）

第40期中間会計期間（2024年9月30日）

資産除去債務のうち中間貸借対照表に計上しているもの

当中間会計期間における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高 9,582千円

時の経過による調整額 81千円

中間期末残高 9,664千円

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

（単位：千円）

	第40期中間会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
投資信託事業（基本報酬）	4,625,254
投資信託事業（成功報酬）	52,774
投資顧問事業（基本報酬）	1,628,384
合計	6,306,413

（セグメント情報等）

セグメント情報

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

当社は、投資運用事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

関連情報

第40期中間会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

本邦の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する営業収益で中間損益計算書の営業収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

	第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
1株当たり純資産額	232,178.58 円
1株当たり中間純利益金額	27,982.80 円 なお、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第40期中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	673,965 千円
普通株主に帰属しない金額	－ 千円
普通株式に係る中間純利益	673,965 千円
普通株式の期中平均株式数	24,085 株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

2024年6月12日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小 林 弘 幸
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSOMPOアセットマネジメント株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第39期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、SOMPOアセットマネジメント株式会社の2024年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸

表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2024年11月22日

SOMPOアセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 小 林 弘 幸
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているSOMPOアセットマネジメント株式会社の2024年4月1日から2025年3月31日までの第40期事業年度の中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、SOMPOアセットマネジメント株式会社の2024年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. XBR Lデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年3月18日

SOMPOアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング20の2024年7月17日から2025年1月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング20の2025年1月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2024年7月17日から2025年1月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽

表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年3月18日

SOMPOアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング30の2024年7月17日から2025年1月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング30の2025年1月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2024年7月17日から2025年1月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽

表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年3月18日

SOMPOアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング40の2024年7月17日から2025年1月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング40の2025年1月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2024年7月17日から2025年1月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽

表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年3月18日

SOMPOアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング50の2024年7月17日から2025年1月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング50の2025年1月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2024年7月17日から2025年1月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽

表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2025年3月18日

SOMPOアセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人
東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 森 重 俊 寛
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 徳 山 勇 樹
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているハッピーエイジング60の2024年7月17日から2025年1月16日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、ハッピーエイジング60の2025年1月16日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2024年7月17日から2025年1月16日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽

表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。

- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

SOMPOアセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。